

「With コロナ時代における未来アイデア」
応募用紙

○応募者

氏名・法人

・団体名	株式会社 T-ICU
(法人・団体の場合)	
メールアドレス	
電話番号	

募集対象・応募資格適合への同意	<input checked="" type="checkbox"/> 同意します
暴力団関係者(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)に規定する暴力団をいう。)	<input checked="" type="checkbox"/> 該当しません

○応募内容

アイデアの部門を下記から1つ選んで丸(○)を記入してください。			
	未来デザイン部門	○	未来テクノロジー部門

アイデア名	①遠隔相談システム『リリーヴ』
-------	-----------------

提案の概要(200字以内)
全国的に専門家が不足する重症患者診療の現場を、集中治療専門医・集中ケア認定看護師で構成されたチームが24時間365日サポート。先進の通信機能により、vital signの経時的変化、血液検査所見、レントゲンやCT画像などの医療情報が供覧でき、従来の電話相談を超えた質の高い診療サポートを提供。 命に関わる重症患者診療を担う医療スタッフの不安に寄り添い、最新の知見と豊富な経験を活かしながら、物理的距離を超えたサポートを行う。 (199字)

提案に当たっての現状・課題・背景 ※様式自由
集中治療医学は、この20年間で飛躍的な進歩を遂げた新しい医療分野である。そのため、専門のトレーニングを受けた医師や看護師はまだ不足している。 一方で、社会における集中治療の必要性はますます高まっている。現在の新型コロナウイルス感染症はしばしば重症化し、人工呼吸器やECMOを使いこなした「高度な集中治療」でなければ救えない方がたくさんおられた。超高齢社会となった現在の日本では、ポストコロナにおいても集中治療の必要性は今後も高まる一方である。

提案を実施することによる効果、提案の実現可能性や実現に当たっての課題 ※様式自由
『リリーヴ』導入により想定されること ①集中治療医のいないopen ICUやHCU、またはそれと同等の重症観察室で利用できる。肺炎、心不全などの内科疾患から、外科手術後、外傷などあらゆる急性期疾患をサポート。重症患者診療では、良質かつ継続した診療が不可欠である。それぞれの時間帯、医師・看護師間で密に連携し、一貫した治療方針でサポートする。 ②少数の医師や若手医師だけで奮闘しているERでは、経験の少ない疾患や専門外の疾患に直面する場面も少なくない。集中治療専門医の多くは救急科専門医の資格も有しており、急性期医療の範疇としてサポート可能です。診療方針の相談から転院の相談までお受けします。 ③重篤な患者の看護では、一つのミスや見逃しが重大な事態に繋がりがねず、現場の看護師には心身に大きな負荷がかかっています。急性期医療の専門トレーニングを受けた集中ケア認定看護師は非常に限られており、各病院で雇用するのは困難です。当社の集中ケア認定看護師は重症患者ケア

から、若手教育、平時の医療安全までサポートします。

『リリーヴ』の強み

① good quality

国内外の第一線のICUでトレーニングを積んだ「集中治療専門医」「集中ケア認定看護師」が、豊富な経験と最新の知見をもとにサポート。

② anytime

24時間365日相談に対応。集中力の落ちやすい夜間帯や人手が減る休日も、いつでも安定したサポートを提供。

③ anywhere

僻地や離島を含む、国内の全てで同様のサポートを提供。必要なのはインターネットだけ。

提案の詳細 ※様式自由

添付資料「『リリーヴ』_提案書」参照

※「提案の概要」以下の項目は、適宜記入欄を拡幅して構いません。

※様式自由となっている項目は、別ファイル(ワード又はPDF形式)で提出していただいても構いません。ただし、本応募用紙と合わせて最大20MBまでです。